

第2回鍛造分科会工具表面ワークショップ・

プロセス・トライボロジー分科会第125回研究会

「焼付き現象を考える－機械的，化学的，物理的要因把握－」

日時：平成22年3月2日（火） 13:00～16:15

会場：名古屋工業大学 講堂会議室（正門入ってすぐ右手）

[〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町

電話(052) 735-5351

<http://www.nitech.ac.jp/access/index.html>]

交通：JR 中央線 鶴舞駅 名大病院口下車 東へ徒歩約10分

主催：日本塑性加工学会 鍛造分科会，プロセス・トライボロジー分科会（実行：鍛造分科会工具表面研究班）

協賛：軽金属学会，精密工学会，日本機械学会，日本金属学会，日本材料学会，日本トライボロジー学会，型技術協会，日本金型工業会，日本鉄鋼協会，粉体粉末冶金協会，日本金属プレス工業協会，日本鍛造協会

趣旨：工具/材料の直接接触により工具表面への材料の凝着がどのようにして始まり，成長して，焼付きが発生するかを考察することは，工具材と表面硬質被膜の開発のために不可欠である。今回のワークショップは，工具表面焼付き発生メカニズムを明らかにするための機械工学的，化学的，物理的アプローチの有効性と問題点をまとめ，工具表面（工具/材料界面）研究の今後の方向性について考える機会とする。

内容：開会の挨拶（13:00～13:05）

鍛造分科会主査 石川 孝司君

プロセス・トライボロジー分科会主査 土屋 能成君

講演会 司会 名古屋工業大学 北村 憲彦君

1. 焼付き発生機構の機械工学的見地 (13:05～13:55)
静岡大学 中村 保君

2. 潤滑膜の形成能や強度に関する化学 (13:55～14:45)
東京都市大学 広中 清一郎君

休憩 (14:45～14:55)

3. 焼付き発生機構の物理的要因 (14:55～15:45)
名古屋工業大学 牧野 武彦君

4. 総合討論 (15:45～16:15)
司会 名古屋工業大学 堂田 邦明君

定員：80名（定員超過の場合はご連絡します。）

参加費：鍛造分科会会員およびプロセス・トライボロジー分科会会員は無料，その他の会員3,000円（協賛学協会含む，学生会員は半額），非会員5,000円（すべて当日払い）

申込み方法：E-mail または Fax にて「第2回鍛造工具表面WS・PT-125回研究会申込み」と題記し，(1)氏名，(2)勤務先（名称・部課名），(3)通信先（〒，住所，電話，FAX，E-mail），(4)会員資格（所属学協会および会員種別）を明記して下記までお申込み下さい。申込み受領確認を兼ねて，参加券をお送りします。

申込先：〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町

名古屋工業大学 おもひ領域

牧野 武彦（鍛造分科会工具表面研究班幹事）宛

[電話(052)735-5367 FAX(052)735-5367

E-mail: makino.takehiko@nitech.ac.jp]

